

(宮川地区) 予算書について

意見要旨	説明・回答要旨
市長の話を聞いて、財政状況は良い方向に向かっているとのことで安心したが、ホームページに掲載されている予算説明書は情報量が多く難しい。簡易版の予算説明書を掲載している市町村もあるので、対応してほしい。	(市長) 茅野市でも簡易版を作成しているが、より分かりやすい予算説明書を目指して、工夫していく。

(宮川地区) 運動公園のアメリカシロヒトリの被害について

意見要旨	説明・回答要旨
運動公園には、市街地にある公園では珍しくニホンリスが生息しているが、その食料となるクルミの木がアメリカシロヒトリの大量発生で大きな被害を受けている。単年では問題ないかもしれないが、複数年この状況が続くと、木が枯れ、ニホンリスも生息できなくなってしまう。何か対策を講じてほしい。	(生涯学習部長) 運動公園は、30ヘクタールという広大な敷地を有しているが、アメリカシロヒトリが各所で同時多発的に発生し、スポーツ健康課の職員が総出で対処したが、初期対応が間に合わず、業者に駆除を依頼した。市として最善を尽くしたが、完全な駆除には至らず、申し訳ない。

(宮川地区) 女性の帰郷率について

意見要旨	説明・回答要旨
大学等で市外へ行った後、地元に戻ってくる若者の男女比で、男性の割合が非常に高くなっている。今日のまちづくり懇談会の参加者も、市全体の男女比率とは異なり、男性の割合が非常に高くなっているという現状をしっかりと受け止めて、どうすれば女性が地元に戻ってきてくれるのか、今日のような場所に参加してくれるのかを皆さんで考えていきたい。	(市長) 多くの人が茅野市に住んでくれるようになれば、女性が利用したいお店も、勤め先も自然とできてくるので、そのために若い人たちの意見を取り入れ、まちづくりを行っていくという基本スタンスをとっている。若い世代の中でも10年後、15年後のまちづくりを背負っていく40代前後の皆さんの意見を積極的に取り入れていくことが重要だと思っている。 また、女性の積極的な採用や勤務形態の配慮などを行う企業も増えてきているので、

	茅野市一丸で I ターン、U ターン支援に取り組んでいきたい。
--	---------------------------------

(宮川地区) 消防団について

意見要旨	説明・回答要旨
宮川分団では、毎月 1 日、15 日に夜警を実施しているが、警鐘とアナウンスの音がうるさいという苦情が寄せられたことで、回転灯のみの巡回をしている。 区民の理解も得られないことが増えてきたことに加え、団員の確保にも苦慮している。これらの課題の解決は、区・自治会単位では不可能と考えるが、市としては、どのように考えるか。	(市長) 消防団員は、市内飲食店等で割引を受けられるなどの特典はあるものの、入団者数は厳しい状況。 区民の理解についても、私が消防団員だった時には、見知らぬ区民の皆さんにも感謝されるほど消防団は大事にされていた。市民の皆さんの感覚を昔のように戻すのは難しいが、広報等を活用して、市民の皆さんが消防団の活動への理解を深める活動を行っていきたい。

(宮川地区) 部活動の地域展開について

意見要旨	説明・回答要旨
少子化や教職員の働き方改革、国の方針もあり、部活動の地域への展開は仕方ないことだと思うが、過去に行われた地域展開についての協議会を傍聴した際に、活動の運営を保護者へ丸投げしている印象を受けた。地域に展開することで、出場できる大会が限られたり、送迎等による保護者の負担が増えたりして、活動に参加できない子どもが増えてしまう可能性がある。 丸投げではなくて、行政として諸問題を解決したうえで、子どもたちの選択肢の確保を支援していただきたい。 また、先ほどの市長の話で、税収は上がっているという話なので、送迎や会場費など、保護者への金銭的支援をお願いしたい。	(市長) 現状、地域展開の受け皿については、社会体育団体の皆さんにお願いする方法しかないと考えている。そこから、スポーツ協会とも協力しながら、子ども達と保護者にとって、より良い形へ環境を整えていきたい。 (学校教育課長) 現在学校部活動の顧問の皆さんと、スポーツ協会等の方々とで活動内容のすり合わせを行い、既存のスポーツ団体等へと繋げていっている。スポーツ系では、中学校体育大会に出場できるような体制にする予定。保護者の負担についても、アンケートを実施し、大きな負担をかけず参加していただける体制を整えていく予定。

	今後、受け入れ態勢が整ったクラブからご案内させていただく。
--	-------------------------------

(宮川地区) ごちゃまぜの会について

意見要旨	説明・回答要旨
市長の言う「ごちゃまぜの会」とは、現在茅野市にある、福祉では「福祉 21 茅野」、環境分野では「美サイクルちの」、教育分野では「どんぐりネットワークちの」の3分野の団体が、実践する提言集団として活動するということか。具体的なお話を聞きたい。	(市長) その団体をまぜこぜにしたいと思っている。 今、例に挙げていただいたような団体の活動がさらに広がっていくことが難しい状況になっている。また、活動が高度化、細分化されることによって、一般の方の参画が難しくなっている状況もある。 そのため、まだ、何も決まってはいないが、新たな枠組みで活動を再スタートさせることが必要ではないかと考えている。 (副市長) 地域の独居の高齢者を例にとると、福祉の問題、ごみ捨てなどの環境の問題、防災の問題など多面的に様々な問題が発生してくる可能性がある。その問題を解決するためには、個々の分野ごとではなく総合的に問題に取り組む必要があるため、今の分野別に特化した団体のあり方を考える事が必要だと考えている。 また、区・自治会や公民館についても、役職を超えて、様々な立場から地域の課題解決に向けて活動していただければと思う。

(宮川地区) 学校のあり方検討について

意見要旨	説明・回答要旨
地域対話の結果はいつ頃共有されるのか。	(学校教育課長) アーカイブ配信が市ホームページから確認ができる。

	併せて、1 回目に開催した保護者向けの検討会のアンケート内容を記載した資料も共有しているので確認いただきたい。
素案は、市側で作っていただけるということで良いか。	(市長) 現在、各地区において、子ども達にとって今後の学校のあり方はどうあるべきかを考えていただきたいため、保護者を中心にあり方を検討している。 そこでいただいた意見をもって素案を作り、地域の皆様も含めご意見を聞いていきたい。最終的には、学区関係なく、これからの学校を考える全体会議をやりたいと思っている。

(宮川地区) 区・自治会の負担軽減事業について

意見要旨	説明・回答要旨
冒頭の運営協議会の方からの説明にもあったが、宮川の茅野区と玉川の小堂見区が、区同士で、連携を図っていることは素晴らしいことだと思う。これは、2 年前からパートナーシップのまちづくり推進課で実施している負担軽減モデル区事業の成果だと思う。今後もこの事業を継続して、今問題となっている入区やゴミなどの諸問題の解決の一助になればと思う。	(市長) 今後は、全ての区・自治会で人口減少が発生し、それにより区・自治会が機能しなくなってしまうと、茅野市そのものが機能しなくなってしまうに等しい重要な課題だと考えている。 今後も、地区だけではなく区・自治会にフォーカスして、課題の解決、支援に取り組んでいきたい。

(宮川地区) 宮川小学校のトイレについて

意見要旨	説明・回答要旨
今を生きる子ども達のためにトイレの修繕をお願いしたい。	(市長) 前向きに検討させていただく。